

事後調査報告書

平成 29 年 7 月 21 日

広島市長 殿

事業者
住 所 大阪府大阪市北区芝田二丁目 4 番 24 号
氏 名 西日本旅客鉄道株式会社
代表取締役社長 来島 達夫
電話番号 082-263-4777 (担当 広島工事所)



広島市環境影響評価条例第 31 条第 3 項において準用する同条例第 30 条第 2 項の規定により、次のとおり事後調査報告書を提出します。

対象事業の名称	JR 可部線電化延伸事業
事後調査の種類	<input type="checkbox"/> 工事の実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 工事の完了後
事後調査の項目及び手法	別紙 1 のとおり
事後調査の結果	別紙 2 のとおり
環境の保全のために講じた措置	環境影響評価書に記載している環境保全措置を適切に行いました。
その他	名 称 ジェイアール西日本コンサルタンツ株式会社 代表者 代表取締役社長 七川 研二 所在地 大阪府大阪市淀川区西中島 5 丁目 4 番 20 号



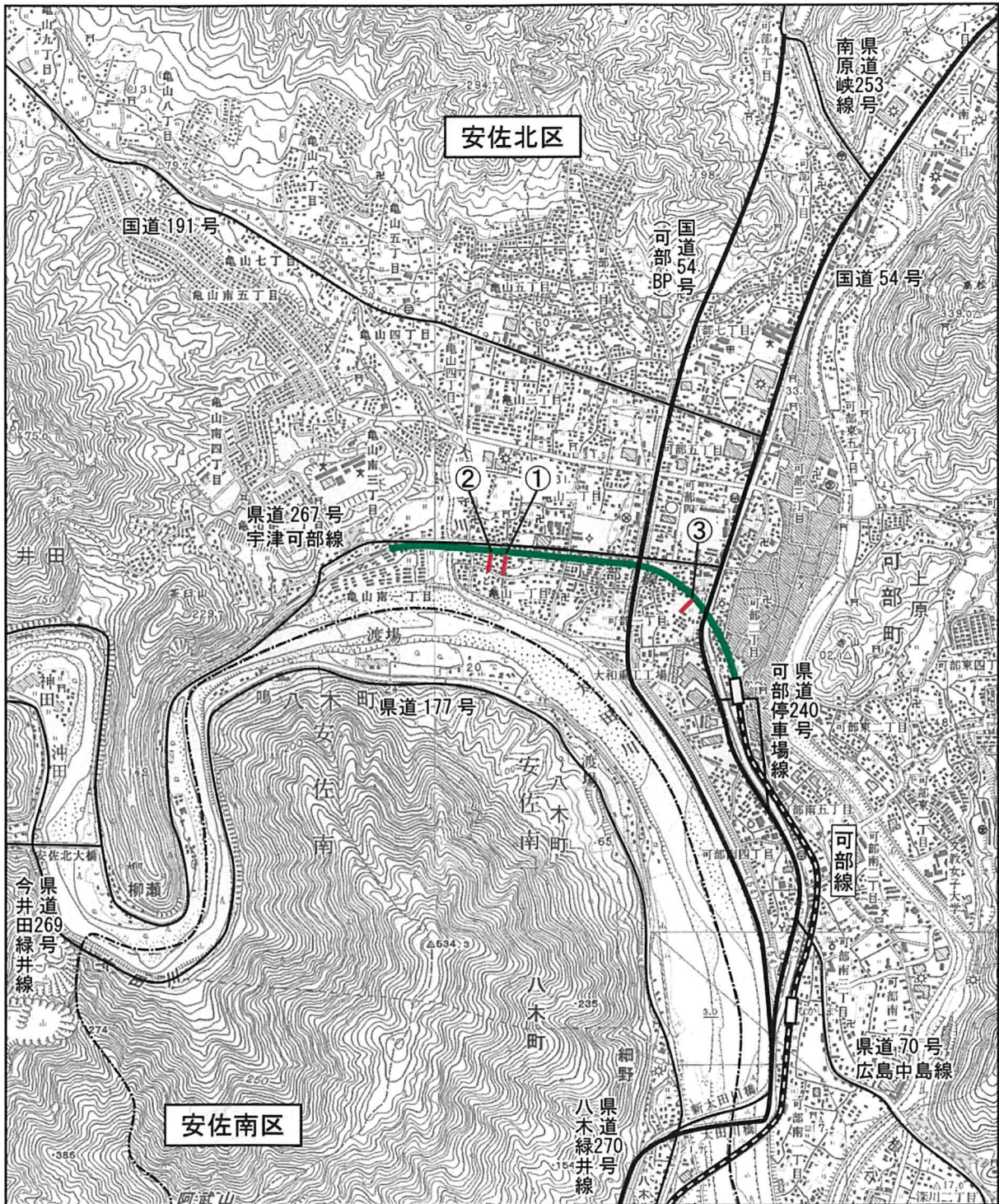
工事の完了後における事後調査の項目及び手法

調査項目		調査時期・頻度	調査地点	調査方法
騒音	列車騒音	供用後 列車の運行が定常状態になった時期に1回。 始発から終電までを対象とする。	延伸区間の直線部（列車速度が最大となる区間）、直線継目部、曲線部の3箇所。	「在来鉄道騒音測定マニュアル」（平成27年10月、環境省）に準拠する方法。
振動	列車振動	供用後 列車の運行が定常状態になった時期に1回。 始発から終電までを対象とする。	延伸区間の直線部（列車速度が最大となる区間）、直線継目部、曲線部の3箇所。	「環境保全上緊急を要する新幹線鉄道振動対策について」（昭和51年3月、環大特32号）に基づく方法。

調査地点の詳細

調査地点	調査測線（キロ程）	測点	
		騒音	振動
直線部	15k085m 付近	軌道中心から 12.5m、25.0m 地上1.2m	軌道中心から 12.5m、25.0m
直線継目部	15k170m 付近		
曲線部	14k335m 付近		

注) キロ程は、JR 横川駅からの営業キロを示す。



凡例

- JR可部線延伸区間
- - - 行政区域界
- - - 列車騒音・振動調査地点
- ①: 直線部
- ②: 直線継目部
- ③: 曲線部



1:25,000

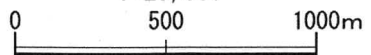


図1 列車騒音・振動調査地点

工事の完了後における事後調査結果

工事完了後における列車の走行が沿線環境へ与える影響を把握するため、列車騒音・振動の調査を行いました。

直線部、直線継目部および曲線部における列車騒音・振動を測定した結果、列車騒音の指針値、列車振動の参考値をいずれも下回っているため、列車の走行による沿線環境への影響はないと考えられます。また、「JR可部線電化延伸事業に係る環境影響評価書」（平成26年1月、西日本旅客鉄道株式会社）の予測結果と比べても下回る結果となりました。

なお、引き続き列車の走行に伴う沿線環境への影響を低減するため、軌道や車両の適切な保守点検・維持管理の実施など、環境影響評価書に示した環境保全措置を適切に行います。

列車騒音調査結果（等価騒音レベル（dB））

		直線部 15k085m 付近		直線継目部 15k170m 付近		曲線部 14k335m 付近	
		昼間 (7～22時)	夜間 (22～7時)	昼間 (7～22時)	夜間 (22～7時)	昼間 (7～22時)	夜間 (22～7時)
軌道中心 から 12.5m	事後調査	54.9	52.4	53.6	51.1	53.0	51.0
	予測値	57.5	53.3	58.0	53.7	58.2	53.9
軌道中心 から 25m	事後調査	47.8	45.4	49.5	46.7	47.1	44.9
	指針値	60	55	60	55	60	55
列車本数（本）		82	17	82	17	82	17
平均速度（km/h）		39.9	39.5	39.2	38.6	40.7	39.5

- 注1) 事後調査日時：平成29年5月30日16時～5月31日16時（始発から終電までの全列車対象）
- 注2) 測定地点：軌道中心線から12.5m、25m、地上高1.2m
- 注3) 予測値：「JR可部線電化延伸事業に係る環境影響評価書」（平成26年1月、西日本旅客鉄道株式会社）における列車速度45km/h時の予測結果
- 注4) 指針値：「在来鉄道の新設又は大規模改良に際しての騒音対策の指針について」（平成7年12月20日環大-174号）に基づく指針値

列車振動調査結果（振動のピークレベルの上位半数の平均値（dB））

		直線部 15k085m 付近	直線継目部 15k170m 付近	曲線部 14k335m 付近
軌道中心から 12.5m	事後調査	59.7	62.7	55.6
	予測値	61.7	63.9	62.0
軌道中心から 25m	事後調査	54.5	51.4	47.9
参考値（dB）		70		

- 注1) 事後調査日時：平成29年5月30日16時～5月31日16時（始発から終電までの全列車対象）
- 注2) 測定地点：軌道中心線から12.5m、25m
- 注3) 振動のピークレベルの上位半数の平均値：現地調査結果によって得られた列車の振動のピークレベルのうちレベルの大きさが上位半数のものを算術平均して算出
- 注4) 予測値：「JR可部線電化延伸事業に係る環境影響評価書」（平成26年1月、西日本旅客鉄道株式会社）における列車速度45km/h時の予測結果
- 注5) 参考値：「環境保全上緊急を要する新幹線鉄道振動対策について（勧告）」（昭和51年3月、環大特32号）の指針値